

業 績 目 録（令和6年）

大学院科目名：リハビリテーション医学

(A-a) 英文著書

なし

(A-b) 和文著書

- 1 河崎 敬. II急性期のリハビリテーション医学・医療のための基礎知識 6 体液調整の基礎. 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版（総編集 久保俊一, 田島文博）. 医学書院, 東京:pp39-42, 2024.
- 2 三上靖夫、木村慎二. III急性期のリハビリテーション診療の流れ 4 急性期のリハビリテーション治療における管理 4 疼痛の管理. 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版（総編集 久保俊一, 田島文博）. 医学書院, 東京:pp 86-89, 2024.
- 3 垣田真里, 河崎 敬. III急性期のリハビリテーション診療の流れ 4 急性期のリハビリテーション治療における管理 5 イレウス・排泄の管理. 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版（総編集 久保俊一, 田島文博）. 医学書院, 東京:pp 90-93, 2024.
- 4 河崎 敬, 垣田真里. III急性期のリハビリテーション診療の流れ 4 急性期のリハビリテーション治療における管理 7 せん妄・認知症の管理. 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版（総編集 久保俊一, 田島文博）. 医学書院, 東京:pp 100-104, 2024.
- 5 沢田光思郎, 三上靖夫. IV急性期のリハビリテーション診療の実際 1 急性期のリハビリテーション診断の実際. 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版（総編集 久保俊一, 田島文博）. 医学書院, 東京:pp 115-117, 2024.
- 6 三上靖夫、田島文博. V急性期のリハビリテーション診療の実践例 2 運動器・運動器外傷・切断. 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版（総編集 久保俊一, 田島文博）. 医学書院, 東京:pp 198-205, 2024.
- 7 河崎 敬, 三上靖夫. III周術期のリハビリテーション診療の実際 6 術直後のリハビリテーション診療 D 疼痛の管理. 消化器外科のリハビリテーション医学・医療テキスト（総編集 久保俊一, 山上裕機）. 医学書院, 東京:pp130-133, 2024.
- 8 垣田真里, 三上靖夫. III周術期のリハビリテーション治療の実際 6

術直後のリハビリテーション診療 E イレウス・排泄の管理. 消化器外科のリハビリテーション医学・医療テキスト (総編集 久保俊一, 山上裕機). 医学書院, 東京: pp134-138, 2024.

- 9 沢田光思郎, 河崎 敬. III 周術期のリハビリテーション治療の実際 6 術直後のリハビリテーション診療 F せん妄・認知症の管理. 消化器外科のリハビリテーション医学・医療テキスト (総編集 久保俊一, 山上裕機). 医学書院, 東京: pp139-142, 2024.

(B-a) 英文総説

なし

(B-b) 和文総説

- 1 沢田光思郎, 三上靖夫, 垣田真里. 【痛み診療の新知見】疼痛とリハビリテーション医療. 京府医大誌 133 (6) : 337-343, 2024.
- 2 三上靖夫, 沢田光思郎. 【在宅におけるリハビリテーション診療マニュアル】在宅リハビリテーション各論 脊椎・脊髄疾患. MED REHABIL 305 : 101-108, 2024.
- 3 生駒和也, 牧 昌弘, 城戸優充, 小林裕美子, 大橋鈴世, 高橋謙治. 【扁平足の診断と治療-新たな名称「PCFD」の概念を含めて】成人期扁平足と PCFD 整・災外 66 : 367-374, 2024.
- 4 外園泰崇, 生駒和也, 牧 昌弘, 細川俊浩, 大橋鈴世, 高橋謙治. 【変形性足関節症の最新の治療】変形性足関節症に対する下位脛骨骨切り術. 整・災外 67 : 241-247, 2024.
- 5 松井善也, 大橋鈴世, 三上靖夫. 【テクニカルエイド-つくる自助具・使える自助具】(第4章)つくる編 自助具製作ボランティアとの連携. 作療ジャーナル 58 : 796-800, 2024.
- 6 白石裕一, 的場聖明, 三上靖夫. 【障害者のかかりつけ医としての包括的リハビリテーション診療】慢性心不全患者のかかりつけ医としての包括的リハビリテーション診療. J Clin Rehabil 33 : 966-972, 2024.

(C-a) 英文原著

- 1 Asaeda M, Mikami Y, Nishimura Y, Shimokawa T, Shinohara H, Kawasaki T, Kouda K, Ogawa T, Okawa H, Uenishi H, Kuroda R, Mikami Y, Tajima F, Kubo T. A cross-sectional survey of consistent rehabilitation through long-term care insurance in Japan: a questionnaire survey. Ann Med Surg 85: 17-23, 2024. (IF=1.6)

- 2 Maeda H, Hishikawa N, Sawada K, Sakurai M, Ohashi S, Mikami Y. Wearable integrated volitional control electrical stimulation device as treatment for paresis of the upper extremity in early subacute stroke patients: A randomized controlled non-inferiority trial. *Arch Phys Med Rehabil* 105(2): 227-234, 2024. (IF=3.7)
- 3 Hishikawa N, Sawada K, Kubo M, Kakita M, Kawasaki T, Ohashi S, Mikami Y. Kinesiophysiological analysis associated with changes in subjective intensities in belt electrode-skeletal muscle electrical stimulation: a prospective exploratory study. *J Phys Ther Sci* 36: 284-289, 2024. (IF=0.4)
- 4 Hishikawa N, Sawada K, Maeda H, Ikeda T, Ohashi S, Mikami Y. One-Leg Robotic-Assisted Gait Training Efficiently Improves Gait Independence for Acute Stroke Hemiplegic Patients: A Prospective Pilot Study. *Am J Phys Med Rehabil* 103: 444-447, 2024. (IF=2.4)
- 5 Kouda K, Banno M, Umemoto Y, Kinoshita T, Nishimura Y, Mikami Y, Kubo T, Tajima F. The acute effect of hot water immersion on cardiac function in individuals with cervical spinal cord injury. *J Clin Med* 13: 7593, 2024. (IF=2.9)
- 6 Sakuyama N, Fujita N, Ikumi A, Miura M, Nagahiro S, Mikami Y. Efficacy of Health Surveillance and Polymerase Chain Reaction Testing in Judo During the COVID-19 Pandemic. *Cureus* 16: e57898, 2024. (IF=1.3)
- 7 Tonomura H, Nagae M, Ishibashi H, Hosoi K, Ikeda T, Mikami Y, Takahashi K. Posterior Occipitocervical Fixation and Intrathecal Baclofen Therapy for the Treatment of Basilar Invagination with Klippel-Feil Syndrome: A Case Report. *Medicina* 60(5): 755, 2024. (IF=2.4)
- 8 Ikumi A, Sasaki E, Sakuyama N, Mikami Y. Incidence of Elbow Injury Patterns in Japanese Adolescent Judo Players: Analysis from a Nationwide Insurance Database. *Sports* 12: 289, 2024. (IF=2.9)

(C-b) 和文原著

- 1 細川俊浩, 牧 昌弘, 飯沼可奈子, 小林裕美子, 外園泰崇, 城戸優充, 今井 寛, 原 佑輔, 大橋鈴世, 生駒和也. 当院における難治性足底腱膜炎に対する収束型体外衝撃波治療の照射条件変更に伴う治療成績の検討. *日足外会誌* 45: 91-93, 2024.

- 2 守田洋一郎, 菱川法和, 垣田真里, 河崎 敬, 大橋鈴世, 沢田光思郎, 三上靖夫. ボツリヌス療法と電気・磁気刺激療法を併用した脳出血後の痙縮を伴う右上肢麻痺の症例. 日生体電気刺激研会誌 37:1-5, 2024.
- 3 水谷純子, 浅田麻樹, 横山雅人, 兼松まどか, 堀井基行, 南 香織, 仲俣岳晴, 中西雄紀, 河崎 敬, 三上靖夫. COVID-19 パンデミックは、大腿骨近位部骨折の回復期リハビリテーション病棟在院日数に影響したか. 洛和会病医誌 35:6-10, 2024.

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

- 1 沢田光思郎. 教育講演 リハビリテーション科医企画「こんな症状なんとかします！紹介してください」. 京都リハビリテーション医療・介護フォーラム 2024, 2024, 京都.
- 2 三上靖夫. 教育講演 どうしてですか？ 施設や在宅で腰や手足の痛みを訴えたとき. 京都リハビリテーション医療・介護フォーラム 2024, 2024, 京都.
- 3 沢田光思郎. 教育講演 次世代を担う若手医師と創るリハビリテーション診療—日常診療をまるごと教育の場の一—. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2024, 渋谷区.
- 4 三上靖夫. 教育講演 関節リウマチ患者の活動を支えるリハビリテーション診療. 第 14 回 泉州リウマチ膠原病談話会, 2024, 泉大津.
- 5 三上靖夫. 教育講演 関節リウマチ患者の活動を考える. 第 20 回 茨城リウマチケア研究会, 2024, つくば.
- 6 三上靖夫. 教育講演 より良い学術団体・学術大会を目指して. 第 12 回日本運動器理学療法学会学術大会, 2024, 横浜.
- 7 三上靖夫. 教育講演 かかりつけ医は高齢者の腰痛にどう対応するか. 在宅患者のためのリハビリテーション診療講座 京都府リハビリテーション教育センター第 21 回座学研修会, 2024, 京都.
- 8 三上靖夫. 教育講演 その体幹装具は生活を妨げていませんか？第 40 回日本義肢装具学会学術大会 2024, 福岡.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 大橋鈴世. シンポジウム 多職種で取り組む転倒予防, 多職種で取り組む転倒予防. 京都リハビリテーション医療・介護フォーラム 2024, 2024, 京都.
- 2 櫻井桃子. シンポジウム 生討論！病院・在宅における情報共有・連携

- の実際と本音，生討論！病院・在宅における情報共有・連携の実際と本音．京都リハビリテーション医療・介護フォーラム 2024, 2024, 京都．
- 3 紙谷 武，井汲 彰，黒木修司，佐々木英嗣，立石智彦，米田 實，木田将量，神谷宣広，松永大吾，宮崎誠司，三上靖夫．シンポジウム 成長期のスポーツ障害－最近の発症予防の知見－，柔道における成長期スポーツ障害 腰椎分離症の予防について．第 97 回日本整形外科学会学術集会，2024，福岡．
 - 4 紙谷 武，柵山尚紀，井汲 彰，河野稔文，松波英寿，米田 實，木内正太郎，和田誠之，田邊 誠，宮崎誠司，三上靖夫．シンポジウム 健康長寿に向けた，安心安全なスポーツ競技を行っていただくために－無理をさせない競技指導から外傷予防の基本・いろは－，「受身」の有効活用法．第 97 回日本整形外科学会学術集会，2024，福岡．
 - 5 新庄浩成，大橋鈴世，沢田光思郎，久保元則，菱川法和，三上靖夫．シンポジウム 新たなアプローチ：高齢者の健康寿命を考える，京丹後の高齢者の 24 時間動作行動から見えてきた長寿の秘訣．第 43 回日本臨床運動療法学会学術集会，2024，京都．
 - 6 三上靖夫．シンポジウム さらなる柔道の発展にむけて－医科学・審判・強化の立場から－，医科学委員会が柔道の発展になすべきこと．第 11 回柔道医科学研究会，2024，天理．
 - 7 牧 昌弘，生駒和也，原 佑輔，細川俊浩，小林裕美子，外園泰崇，大橋鈴世，高橋謙治．シンポジウム 成人期扁平足(PCFD)：手術手技の選択－可撓性のある扁平足をトータルでどう扱うか－，可撓性のある Progressive collapsing foot deformity の病態と手術手技の選択．第 49 回日本足の外科学会学術集会，2024，港区．
 - 8 外園泰崇，生駒和也，牧 昌弘，今井 寛，城戸優充，原 佑輔，細川俊浩，小林裕美子，大橋鈴世，高橋謙治．パネルディスカッション 強剛母趾の病態と治療－どう治療していくのか－，強剛母趾における cheilectomy の適応と限界．第 49 回日本足の外科学会学術集会，2024，港区．
 - 9 三上靖夫．シンポジウム スポーツと転倒，柔道を活かした転倒予防．日本転倒予防学会第 11 回学術集会，2024，佐賀．
 - 10 島原範芳，菱川法和，佐藤信治，山本直弥，山中貴弘，中野正規，炭蔵鈴美，遠山将吾，澤田直哉，奥田泰章，大西 誠．シンポジウム 日本リウマチ財団が取り組むリウマチトータルマネジメントの実践，関節リウマチのトータルマネジメントにおけるリハビリテーション治療の役割－その必要性和課題について－．第 39 回臨床リウマチ学会，

2024, 浜松.

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Maki M, Ikoma K, Hara Y, Ohashi S, Takahashi K. Results of Arthroscopic Arthrodesis for Severe Varus Osteoarthritis of Ankle. IFFAS. 2024 May 31- Jun 1; Coex, Seoul, Korea.
- 2 Shimahara N, Hishikawa N, Yamanaka T, Sato S, Taira K, Toyama S, Saura R, Nishida K, Sawada N, Okuda Y, Ohnishi M. Unmet medical needs of patients of different generations with rheumatoid arthritis: An observational study. European Alliance of Associations for Rheumatology (EULAR) 2024 Jun 14; Wine, Austria.

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 360 万円

公的助成

代表（総額）・小計 290 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和 4～6 年度
高齢者の活動が健康寿命に与える影響－京丹後長寿コホート研究から－
助成金額 70 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和 6～8 年度
関節リウマチのサルコペニア治療法の確立；骨格筋増量法のパラダイムシフトを目指して
助成金額 220 万円

分担・小計 70 万円

- 1 厚生労働省長寿科学政策研究事業 令和 5～7 年度
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究
助成金額 70 万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 0 万円

- 1 公益財団法人大和証券財団 調査研究助成 令和 5～6 年度
高齢消化器がん患者に対する術前入院・集学的リハビリテーション治療プログラムの開発
助成金額 0 万円